

## カトリック山手教会月報

## やまて



編集・発行

カトリック山手教会 広報委員会 〒231-8652 横浜市中区山手町44番地

☎ (045) 641-0735

<http://catholicyamate.org/>

第639号

2023年5月14日

## 復活徹夜祭ミサ

4月8日（土）19時から修復された聖堂で復活徹夜祭ミサがラファエル梅村昌弘司教主司式により執り行われ、洗礼・堅信・聖体の「入信の秘跡」の祭儀がありました。典礼色は神の栄光を表す白。典礼は、第1部「光の祭儀」、第2部「ことばの典礼」、第3部「洗礼と堅信」、第4部「感謝の典礼」から構成され、「光の祭儀」では、新しい火の祝別や復活されたキリストを表すろうそくの祝別と行列があり、復活賛歌が鈴木真主任司祭と聖歌隊により歌われました。「ことばの典礼」では旧約聖書の朗読があり、「入信の秘跡」では22人がお恵みにあずかりました。

## 主任司祭・鈴木 真師説教

皆さん、ご復活おめでとうございます。

きょう、入信の秘跡を受けられる皆さんに、鎌倉のレデンプトリスチン修道院のシスター方から、一人ひとりにお祝いのカードが届きました。2月27日に行われた横浜教区合同の入信志願式の時に説明があったと思いますが、この日に入信志願者となられた方全員のために、シスターたちがこの四旬節中、毎日祈ってくださいました。そのカードは、あとで皆さんにお渡しする封筒に入れてあります。このカードが届いた時、これぞカトリック！と本当にうれしく思いました。カトリック教会は、全世界共通です。ゆえに、いつもさまさまなところで一つに

つなげられているのです。とは言っても、まあ全世界というのは広すぎるので、もっぱら教区という枠で活動しますが、いろいろな面でわたしたちがつながられているという体験ができるのは、言わばカトリックの大きな強みでしょう。もっともコロナ前は毎年行われていたのですが、今年は実に4年ぶりに教区合同の志願式が行われて、シスターたちが一人ひとりに書いてくださったカードを見ながら、これこそカトリックだよなあ…と強く思いました。祈りの生活をなさっているシスター方に、いつもわたしたちは、その祈りによって支えられています。信徒、修道者、司祭というこの3者が、それぞれの生活をし、それぞれの役割を果たしつつ、共に支え合って歩んでいるのが言わば「教会」です。同時に、これこそが「キリストの復活」とも言えるでしょう。いつでもどこでも、そして、いつまでも、わたしたち一人ひとりと共にいてくださるキリストを通して、神さまははたらかれています…それが言わば「キリストの復活」そのもの、なのですね。毎年、神さまのわざによって、人と人とのつながりの中で、共にいてくださるキリストを通して、共同体は新たなメンバーを迎えることができます。それが2000年続いていることが、まさに「キリストの復活」であるわけです。

無論、カトリックやキリスト教ばかりでなく、神さまは、すべての人をつないでくださるし、すべての人を通してはたらかれています。しかし、「キリスト」という存在によって、それを感じ、また、分かち合うのが「キリストの共同体」に他なりません。